

事業評価調書

◎基本情報

年度	2019		会計コード	10	一般会計	事業コード	23645		
事業名	札幌ドーム利用料金減免補てん補助金								
評価担当 課	所属名	スポーツ局スポーツ部企画事業課							
	課長名	金谷 泰亭	担当者名	矢澤 吉明	電話番号	211-3044			
施策名	主	3-1地域活動を活発化する環境づくり							
	副								
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外			戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外			
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費 <input checked="" type="radio"/> 臨時の経費								
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理費								
実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input checked="" type="radio"/> 補助・助成 <input type="radio"/> その他								
取組内容 (何をする)	<p>【目的】プロスポーツ支援</p> <p>【内容】コンサドーレ札幌が札幌ドームで試合を開催する際の利用料減免補てん補助。利用料金の1/3減免措置を講じ、これによって生じる減収相当額を(株)札幌ドームへ補助金として交付するもの。及びRWCの札幌ドーム使用料の減免補てん補助。</p>								
事業内容	目的 (何をどうするためか)	長期	プロスポーツの支援をすることで、「みるスポーツ」の機会の創出、地域の活性化やコミュニティの醸成に寄与する。						
		短期	プロスポーツや大規模な国際大会開催の支援をすることで、「みるスポーツ」の機会の創出、地域の活性化やコミュニティの醸成、スポーツ都市としてのシティプロモートに寄与する。						
実施結果	天候に左右されずに試合観戦が楽しめる観戦環境が整った札幌ドームにおいて、一定数のプロスポーツの試合や国際大会が開催されることにより、多くの市民に対する試合観戦の機会を提供でき、本市のスポーツ振興の推進を図ることができた								
事業実施における工夫点	なし								
対象者	(株)札幌ドーム				開始	2001 年度	終了	年度	
関連法令・条例・要綱等									
他都市の状況	(全額免除)山形県、岐阜県 / (90%減免)川崎市 (80%減免)岡山県、福岡市 / (75%減免)徳島県 (50%減免)北九州市 など								

◎事業費

(単位:千円)

	H30年度決算	R1年度予算	R1年度決算	R2年度予算
事業費	38,808	225,000	225,000	40,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.3	0.1	0.1	0.1
人件費	2,130	720	720	720
計(事業費+人件費)	40,938	225,720	225,720	40,720
事業費の内訳	R1年決算 225,000千円			
	R2年予算 40,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	スポーツ実施率(週に1回以上スポーツをする成人の割合)					
		H30年度実績	R1年度予定	R1年度実績	R2年度予定			
		54.2%		58.6%				
活動指標2		指標名	直接スポーツを観戦した人の割合					
		H30年度実績	R1年度予定	R1年度実績	R2年度予定			
		39.8%		43.6%				
成果指標1		指標名						
		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標			
成果指標2		指標名						
		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標			
項目	判定	理由						
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	天候に左右されずに試合観戦が楽しめる観戦環境が整った札幌ドームにおいて、一定数のプロスポーツの試合や国際大会が開催されることにより、多くの市民に対する試合観戦の機会を提供することでき、本市のスポーツ振興の推進を図ることができた。						
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	ドームの独自減免、(株)コンサドーレの観客増への努力を考慮した上で三者応分の負担という考えに立ち、本市の負担分を計算しており、また、RWCの開催に伴う使用料の減免についても試合開催に必要な経費を計上しており、妥当な金額と考えている。						
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	運営会社である(株)コンサドーレは、自立経営に向けた努力を鋭意続けてはいるが、依然として経営状況は厳しい状況にあり、安定的な試合開催のためには補助金による支援が妥当であると考えている。また、RWCを開催するための使用料補助についても開催都市として必要な手法であると考えている。						
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	北海道コンサドーレ札幌は、地域に密着したトップスポーツであり「みるスポーツ」の機会の提供のみならず、市民が自分のまちのチームとして応援し、支えることを通して、地域の活性化やコミュニティの醸成に貢献している。 運営会社である(株)コンサドーレは、自立経営に向けた努力を鋭意続けてはいるが、依然として経営状況は厳しい状況にあり、安定的な試合開催のためには補助金の交付が不可欠であると考えている。						
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外	市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	同クラブは、2016年に4年ぶりのJ1昇格をしてから3年が経過し、売り上げは伸びつつあるものの、J1に定着し続けるために必要なチーム人件費は確保できており、更なる観客動員数アップや、新規スポンサー獲得を行うなど、より一層の経営努力が必要な状況であるがことから、行政からの支援を受けなくても安定して各事業を実施できる経営体质の強化が求められる。							
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業							
今年度取り組んだ見直し内容	なし				見直し効果額 (前年度)	0 千円		
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業							
評価の理由	多くの市民に試合観戦の機会を提供することで、本市のスポーツ振興の推進を図ることができた。							
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止						
		(株)コンサドーレの経営状況を見極めつつ、適切な支援のあり方を検討していく。						
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> その他			見直し効果額	0 千円		
同社の経営状況を見極めつつ、適切な支援のあり方を検討していく。								